

## あいさつを交わす

校長 嶋見 靖之



あじさいが見頃を迎え、梅雨明けが待ち遠しく感じられるこの頃です。

6月、児童会が学校生活をよりよくしようと頑張りました。図書委員会は、児童朝会でクイズを出したり、しおりプレゼントのお知らせをしたりして本に興味をもってもらえるよう取り組みました。総務委員会はあいさつ運動を行っています。朝、総務委員や各学年の子どもたちが児童玄関前に立ってあいさつを呼び掛ける取組です。

私は、7月1日の全校朝会（放送）で「あいさつを交わすことが大切。あいさつを交わすとお互いが仲良しなことが確かめ合える」と話しました。

京都大学総長で世界的なゴリラの研究者である山極寿一さんは、1981年にアフリカでゴリラの群れを調査した時の経験から次のようなことに気付いたそうです。

人の年齢にして10代後半の血気盛んな若いオスゴリラが山極氏に近づき、顔をのぞき込んできた。これはニホンザルなどによく見られる威嚇行為だと山極氏は思い、「けんかはお免だよ」とすぐに目をそらした。するとゴリラは山極氏がそらした目の方向に移動して再び顔を近づけてきた。山極氏がまた目をそらすと、ゴリラは不満そうな態度を見せて去って行った。

ゴリラ同士が目を合わせたらどんな行動をするのか。山極氏は注意深く観察を続けていくうちに気付いた。どちらかが目をそらすニホンザルと異なり、ゴリラはじっと見つめ合ったままだ。この行動がゴリラなりのあいさつであると分かった。

山極氏は「ゴリラが長く見つめ合うときは何かの好意的なサインだ。人間に似ている」という。

（日本経済新聞電子版 2016年4月27日）

人間のあいさつという行為はこの延長線上にあるのでしょう。

職員から「おはよう」だけでなく「〇〇さん、おはよう」と言うとあいさつが返ってくる、と話を聞きました。あいさつがないのは単に子どもがあいさつされたことに気付いていないからかもしれません。あいさつを交わせる信頼関係づくりが求められます。

**【夏休みについて】 今年7月31日(金)～8月23日(日)と例年より短くなります。また新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地区ごとのラジオ体操や分団水泳は行いません。**